

令和元年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」島守中学校区実践計画書

事務局 島守小学校 (担当: 教頭 小枝 晃嘉)

1 主題 (1/2年次)

主体的・対話的で深い学びを実現するための小中連携の在り方
～ 児童生徒が自ら学び、自ら発信する授業改善をめざして ～

2 主題設定の理由

島守中学校区では昨年度まで2年計画で「確かな学力をはぐくむ小中連携の在り方～特別支援教育の視点を取り入れた指導の充実を目指して～」を研究主題として様々な取組を実施してきた。成果として以下の二点があげられる。

①「ICT機器の活用」や「授業の流れの見える化」「板書の工夫」を行い授業改善に努めた。

小・中学校で互いに授業を見せ合い話し合うことで定着が図られてきた。

②小・中学校合同でワークショップ形式で、「9年間を見通した総合的な学習の時間の取組」について協議を行った。その結果、どのような力が児童生徒についているのか知ることができ、小中学校で共有することができた。

一方課題としては、以下の二点があげられる。

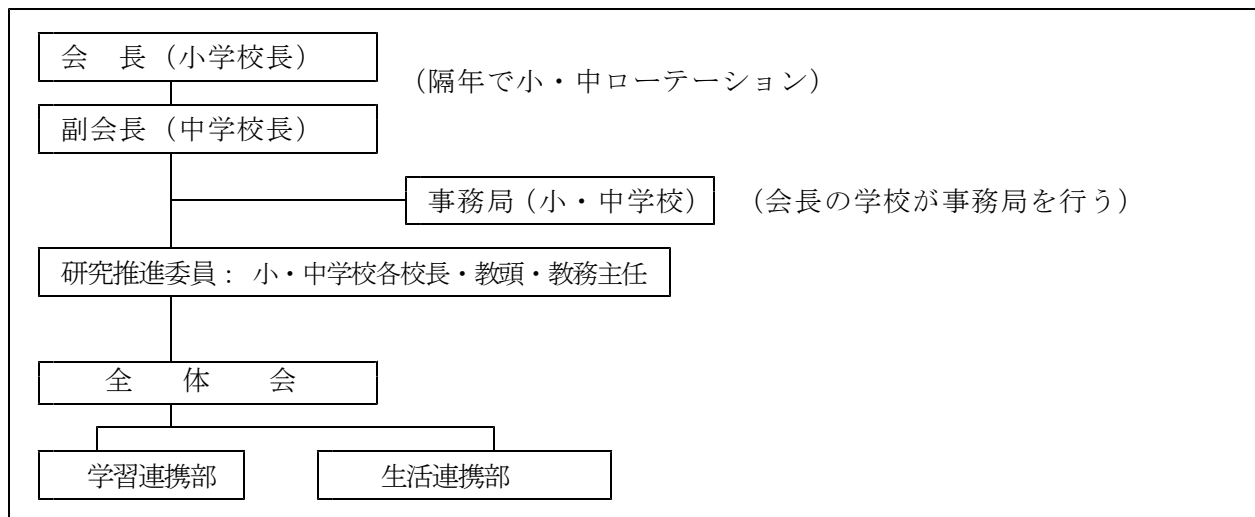
①特別支援教育の視点を取り入れた指導において一部形式的になっている部分があり改善が急がれる。

②地域学校連携協議会委員との連携を深めた取組や協力体制についても検討し、地域と学校が一体となった教育活動の展開に一層努める必要がある。

そこで、今年度は上記の主題を設定し、一人ひとりの児童生徒が、もっている力を十分に発揮し本気で取り組む授業をめざしたい。そのために、「児童生徒が主役となる授業」「自ら学び共に学ぶ授業」「児童生徒の発信型の授業」の3点を柱として、9年間を見通した教育を推進していきたいと考える。

また、地域学校連携協議会委員とのさらなる連携を深めるために、学校行事への参加、授業公開等を積極的に行い、開かれた学校として、地域と共に児童生徒を育てる島守中学校区を実現するよう努めていきたい。

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



4 中学校区の重点指導項目

島守中学校区 重点目標

- | | |
|---|------------|
| <input type="checkbox"/> 規則正しい生活をする。(早寝、早起き、朝ご飯) | ⇒ 基本的な生活習慣 |
| <input type="checkbox"/> 場に応じたあいさつや受け答えができる。(あいさつ・受け答え) | ⇒ 人間関係の形成 |
| <input type="checkbox"/> 予習・復習・読書など家庭学習に計画的に取り組むことができる。 | ⇒ 家庭との連携 |
| <input type="checkbox"/> ゲーム機器とネット利用の時間ときまりを守ることができる。 | ⇒ 判断力の形成 |